

2. フェーズ 2

2-1 実施目的

- ① 移行データの後続処理が正常に行えることの確認を行う。
- ② 現行 NACCS から移行したデータ(以下、「移行データ」)を使用して現行 NACCS と同様の業務を第 7 次 NACCS で行い、第 7 次 NACCS 稼働後の運用実態に近い状況での実運用に則した業務運用確認を行う(移行データに係る手続きが終了した後も、現行 NACCS と同様の業務を第 7 次 NACCS においても可能な範囲で並行入力する。)
※現行 NACCS と同様の業務を第 7 次 NACCS において並行入力するデータを以下「現行流用データ」という。
- ③ 利用者が入力したデータをもとに日報・週報・月報等の管理資料情報を作成し、管理資料情報取出サーバに格納する。利用者は管理資料情報取出サーバに格納した管理資料情報を取り出し、入力したデータとの対査確認を行う。
- ④ 保守日運用の確認を行う。
- ⑤ 予め定められた時刻に同時送信を行うことにより、システム負荷試験を行う。
- ⑥ メインセンターとバックアップセンターの切替切戻しの運用確認(第 1 回目)を行う。
- ⑦ メインセンターのシステム故障を発生させた想定で、故障復旧運用の確認を行う。

2-2 対象者と対象業務

(1) 対象者

民間利用者、関係行政機関(税関、関係省庁)

※関係省庁:厚生労働省(検疫所(食品、人・航空)、医薬)、動物検疫所、植物防疫所、

外為法関連業務利用者(経済産業省、水産庁)、港湾関連業務利用者(東京湾海上交通センター、港長、港湾管理者(注)、検疫所(人・海上)、保安部署、地方運輸局)、農水省(輸出証明)

(注): 対応港湾は、後日 NACCS 掲示板へ掲載します。

(2) 対象業務

① オンライン業務

次の業務を**除く**全業務

- ・利用者設定業務(呼出し、照会業務は実施可能)
- ・ディレード業務(「当初輸入申告情報呼出し(修正申告)(DLI02)」業務等)
(一部業務は開放(対象は別紙 2「総合運転試験業務可否一覧」を参照))

※ディレード業務は、切替切戻し運用確認において、バックアップセンターからメインセンターへの切戻し準備開始～メインセンターへの切戻し完了までの期間中(8月8日(金)17:30～8月10日(日)04:00)は、一律実施不可です(詳細は「2-10 切替切戻し運用確認(第1回目)(大規模障害時)」を参照してください。)。2025年7月分とフェーズ2期間中に総合運転試験環境で許可となった申告分が取得可能です。

- ・MPN 関連業務
- ・歳入金電子納付システム業務(REPS 関連業務)

② WebNACCS(通関、貨物、損保、海上入出港、動物・植物検疫、外為)

③ 管理資料

作成する

※フェーズごとの対象業務については、別紙 2「総合運転試験業務可否一覧」、管理資料情報については、別紙 3「総合運転試験管理資料情報一覧」を参照してください。

2-3 実施日程

2025年7月28日(月)~8月12日(火)までの16日間(土日祝含む)

(税関対応日は、土日祝除く(対応時間は下記のとおり))

実施日		7月28日(月)	7月29日(火)	7月30日(水)	7月31日(木)
実施時間		10:00~24:00	00:00~24:00		
システム日付・時刻		実施日・実施時刻に同じ			
税関開庁時間		実運用と同様(官署ごとの設定による)			
関係行政機関 対応	税関	11:00~12:00 14:00~15:00			
	税関を除く省庁	可能な範囲で審査終了・回答等を対応			
保守・障害時運用・ 負荷・故障試験		行わない		システム負荷試験 12:00	行わない

実施日		8月1日(金)	8月2日(土)	8月3日(日)	8月4日(月)
実施時間		00:00~24:00			
システム日付・時刻		実施日・実施時間に同じ			
税関開庁時間		実運用と同様(官署ごとの設定による)			
関係行政機関 対応	税関	11:00~12:00 14:00~15:00	対応なし		11:00~12:00 14:00~15:00
	税関を除く省庁	可能な範囲で審査 終了・回答等を対 応			可能な範囲で審査 終了・回答等を対 応
保守・障害時運用・ 負荷・故障試験		故障復旧運用 13:00~13:05 実施不可	行わない	保守日運用 02:30~05:00 実施不可	行わない

実施日		8月5日(火)	8月6日(水)	8月7日(木)	8月8日(金)
実施時間		00:00~24:00			
システム日付・時刻		実施日・実施時間に同じ			
税関開庁時間		実運用と同様(官署ごとの設定による)			
関係行政機関 対応	税関	11:00~12:00 14:00~15:00			
	税関を除く省庁	可能な範囲で審査終了・回答等を対応			
保守・障害時運用・ 負荷・故障試験		行わない			障害時切替運用 (メイン→バック) 13:30~14:10 実施不可

実施日		8月9日(土)	8月10日(日)	8月11日(月・祝)	8月12日(火)
実施時間		00:00~24:00			00:00~18:00
システム日付・時刻		実施日・実施時間に同じ			
税関開庁時間		実運用と同様(官署ごとの設定による)			
関係行政機関 対応	税関	対応なし			11:00~12:00 14:00~15:00
	税関を除く省庁				可能な範囲で審査 終了・回答等に対応
保守・障害時運用・ 負荷・故障試験		切替後運用(バック アップセンター)	切戻し運用 (バック→メイン) 03:00~04:00 実施不可	行わない	

凡例)網掛けは、オンライン全停止を伴う試験

2-4 現行NACCSからの移行及び移行データの後続確認

第7次 NACCS 稼働後の運用実態に近い状態での業務運用確認を行うため、本フェーズ開始前に7月保守日オンライン停止時点の現行 NACCS に登録されているデータを第7次 NACCS にデータ移行します。移行データの後続処理が正常に動作することの確認を行ってください。

移行データの後続処理の動作確認は、移行データについて現行 NACCS で行った手続きを第7次 NACCS に並行入力して、現行 NACCS と第7次 NACCS の処理結果を比較することによって行ってください。

なお、移行データのうち輸入申告系のデータのシステム処理については、別紙 9-3「輸入申告系情報の移行データの留意点」を参照してください。

2-5 現行流用データによる運用確認

(1) 現行流用データによる運用確認

現行 NACCS と同様の業務を第7次 NACCS において並行入力してください。

(2) 本フェーズ中に現行 NACCS との並行入力ができない機能

① 担保

総合運転試験中は担保の積み増しをタイムリーに行われないため、現行から移行した担保については、金額不足により使えなくなることがあります。

② 払出番号

現行 NACCS と第7次 NACCS で払い出す番号が異なるため、申告番号や輸出管理番号等は、現行 NACCS と第7次 NACCS に異なる番号を入力することになります。

※例えば、現行 NACCS で払い出された保税申告番号「15345678900」は7次 NACCS でも「15345678900」として同じ番号として移行されますが、その後、現行 NACCS と7次 NACCS でそれぞれ輸入申告を行った場合、払い出される番号は現行 NACCS では「11987654300」、7次 NACCS では「11234567800」など異なった番号となります。

2-6 本フェーズ中のNACCSセンターサーバでのデータ保存について

本フェーズ中は、現行 NACCS からのデータ移行後、最終日までデータが継続されます。

なお、本フェーズ中に入力したデータのうち、オンライン保存期間を過ぎたデータは削除されます。

2-7 管理資料情報の検証

各日の業務実施内容に基づき管理資料情報を作成するため、管理資料情報を取り出し、管理資料情報の内容と入力データとの対照確認を行ってください。作成周期が、本フェーズの日程内にある管理資料情報(日報、週報、月報)が作成されます。

作成対象管理資料については、別紙 3「総合運転試験管理資料一覧」を参照してください。

2-8 システム負荷試験

第 7 次 NACCS の過負荷時の動作検証のため負荷試験を実施します(全利用者対象)。

(1) 自社システム利用者／パッケージソフト利用者

利用者は「端末開通確認(TCC)」業務を事前に準備いただき、7 月 30 日(水)12:00 に一斉に送信いただきますようご協力をお願いします。

本試験は全利用者の一斉送信であるため、NACCS センターサーバの処理能力を超えるトラフィックが発生し、業務処理結果はエラーになる場合もあります。**一斉送信の結果が正常／エラーに関わらず、13:00 までは次の送信を行わないでください。**

(2) WebNACCS 利用者

WebNACCS 利用者は第 7 次用 NACCS 掲示板から第 7 次 WebNACCS のログイン画面を開き、利用者 ID、パスワードを入力し、ログインを行う直前まで事前に準備いただき、7 月 30 日(水)12:00 に、一斉にログインいただきますようご協力をお願いします。

本試験は全利用者の一斉送信であるため、NACCS センターサーバの処理能力を超えるトラフィックが発生し、業務処理結果はエラーになる場合もあります。**一斉送信の結果が正常／エラーに関わらず、13:00 までは次の送信を行わないでください。**

なお、NACCS センターから利用者に対して、負荷試験実施前日、及び実施日の午前中に第 7 次 NACCS 環境において同報電文にて負荷試験実施の旨を連絡します(第 7 次用 NACCS 掲示板にもお知らせを掲載します)。

2-9 保守日運用の確認

プログラムリリースを行う保守日を想定し、8 月 3 日(日)02:30~05:00 にシステム停止を伴う保守日作業確認を行います。オンライン業務を実施中に保守日運用が行われた場合、受け付けた全ての処理要求を処理した後、オンラインは終了します。保守日運用の開始以降の業務受付は行われません。

なお、NACCS センターから利用者に対して、保守日試験実施前営業日の午後に第 7 次 NACCS 環境において同報電文にて保守日運用を行う旨を連絡します(第 7 次用 NACCS 掲示板にもお知らせを掲載します。)。

2-10 故障復旧運用の確認

8 月 1 日(金)13:00~13:05 に第 7 次 NACCS サーバが故障した想定で、故障復旧運用の確認を行います。故障が発生し、復旧するまでの間、各利用者への影響は次のとおりです。

(1) 自社システム利用者、WebNACCS 利用者

障害発生時は、処理要求電文が受け付けられない可能性があります。

処理結果電文が返らない場合は、一定期間後に再度業務を実施してください。

(2) パッケージソフト利用者

障害発生時は、処理要求電文が受け付けられない可能性があります。

なお、エラー発生時はセンターがビジーである旨のエラーメッセージが返りますので、一定時間後に再度業務を実施してください。

2-11 切替切戻し運用確認(第1回目)(大規模障害時)

8月8日(金)13:30 に第7次 NACCS メインセンターに大規模障害が発生して使用できなくなったと想定し、メインセンターからバックアップセンターへの切替および切戻しの運用確認を行います。

8月8日(金)	8月9日(土)	8月10日(日)
メインセンター ↓ バックアップセンター	終日バックアップセンターでの運用	バックアップセンター ↓ メインセンター
13:30 メインセンター使用不可 メインセンターからバックアップセンターへの切替開始・・・①	終日	03:00 バックアップセンターオンライン停止 バックアップセンターからメインセンターへの切戻し開始・・・③
14:10 頃 メインセンターからバックアップセンターへの切替完了 バックアップセンターオンライン開始・・・②		04:00 バックアップセンターからメインセンターへの切戻し完了 メインセンターオンライン開始・・・④
17:30 バックアップセンター、随時報(※)作成 依頼情報登録・変更業務をできないよう規制する		※バックアップセンターのオンライン停止から、メインセンターのオンライン開始完了までが停止時間になる

※随時報:管理資料情報「一括納付用明細書情報(I03)」等

① メインセンターからバックアップセンターへの切替開始

8月8日(金)13:30、メインセンターが使用できなくなったと想定し、メインセンターのオンラインを停止します。
メインセンターからバックアップセンターへの切替作業を NACCS センターにて行います。

② メインセンターからバックアップセンターへ接続先切替完了

バックアップセンターへの切替が完了次第、オンラインを開始します。利用者はバックアップセンターでの運用を開始してください。バックアップセンターへの切替が完了次第、第7次用 NACCS 掲示板にお知らせを掲載します。

③ バックアップセンターオンライン停止、バックアップセンターからメインセンターへ切戻し開始

8月10日(日)の03:00にバックアップセンターのオンラインを停止し、メインセンターの切戻し作業を行います。
オンラインの停止時間は60分間の見込みです(保守日時間帯を想定)。

④ バックアップセンターからメインセンターへの接続先切戻し完了、メインセンターでのオンライン開始

全ての切戻し作業が完了した後、8月10日(日)04:00にメインセンターでオンラインを再開します。

2-12 NACCSセンターサーバのシステム環境

(1) 利用者ID、パスワード

利用者ID及びパスワードは、2025年7月26日(土)の現行NACCS保守日に伴うオンライン停止時点の情報が現行NACCSから移行されます。フェーズ1開始後に現行NACCSでパスワード変更を行った場合は、変更後のパスワードを使用してください。

(2) 為替等換算レート

本フェーズ中に適用する為替等換算レートは、試験当日に適用する為替等換算レートが設定されます。毎週火曜日または水曜日には、翌週レートも使用可能となります。

(3) 適用税番等

適用税番等は、試験当日に適用される税番、税率等が設定されます。

(4) 輸出入者情報

2025年7月保守日時点の現行NACCSから取得したデータが設定されます。

(5) 特例輸入者、特定輸出者情報

上記(4)の情報に加えて、ダミーの輸出入者「P005A5550000」(法人番号:86345678901230000)を特例輸入者、特定輸出者として登録します。

(6) 審査区分(税関手続き)

本フェーズ中は、税関が対応する時間帯は、区分2、区分3用の輸出入者を以下の申告に用いることで、一般申告の運用確認を行います。

【入力する輸出入者】

- ・区分2用の輸出入者＝「P002X2222222」(法人番号：86345678901230002)
- ・区分3用の輸出入者＝「P003A3330000」(法人番号：86345678901230003)

【対象申告】

輸入申告／輸入マニフェスト通関申告／海上簡易輸入申告
輸出申告／輸出マニフェスト通関申告

上記以外は、一部例外を除いて、審査区分は「1」になるように設定します。税関対応時間帯以外に例外的に審査区分が「2」または「3」に選定された場合でも税関による対応は行いません(前述の区分2、区分3用の輸出入者コードを用いても税関は対応しません。)

(7) 審査区分(食品)

本フェーズ中は、審査区分が「1」になるように設定します。

(8) 関税等振替口座

本フェーズ中は、以下のダミーのリアルタイム口座のみ使用が可能です。利用可能日は、7月30日(水)、7月31日(木)及び8月8日(金)、8月12日(火)の平日です。

なお、納付については特定対応日の各日 00:00-14:00 に実施された申告分を対象(区分 2、区分 3 については、14:00 までに審査終了された申告が対象)とし、各日 17:00 までに疑似的に納付する税関業務処理を行います。応答は 1 日 1 回であり、即時性はありません。

① 輸入申告(正常応答)用

- ・銀行コード-支店:9999-000
- ・口座番号:99990000000001
- ・口座名義人(輸出入者):P005A5550000

② 輸入申告(エラー:口座使用不可通知受信)用

- ・銀行コード-支店:8888-000
- ・口座番号:88880000000001
- ・口座名義人(輸出入者):P005A5550000

現行 NACCS に登録されているリアルタイム口座を使用した場合、事項登録は可能ですが、引き落とし処理がなされないため、輸入許可にはならず許可通知情報の取得ができません。

(9) 関税等納付専用担保

① 現行 NACCS で使用中の担保

2025 年 7 月保守日時点に現行 NACCS から移行された担保が使用可能です。

なお、担保残高は 7 月保守日時点において現行 NACCS で使用している担保の残高となります。

② 全通関業者共用の担保

- ・架空の輸入者のダミー据置担保(一括)(金額:9,999,999,999,999 円)を設定します。
- ・担保登録番号は「1AP000001」で、輸入者コード「P005A5550000」を設定します。
- ・提供原因は、HEN/KEN/BPS/17M/TEN/19G です。

③ 担保残高

本フェーズ中は、7 月 28 日(月)に初期設定された後は、最終日までデータが継続されます。総合運転試験中は担保の積み増しをタイムリーに行わないため、現行から移行した担保については、金額不足により使えなくなることがあります。

2-13 その他

総合運転試験版のパッケージソフトでは、メニューバーがオレンジ色かつ、ステータスバー(パッケージソフト画面下部のバー)の接続先が「総合運転試験環境」となります。